

企業版ふるさと納税で がんばる萩市を 応援してください!!



山口県萩市

面積 698.29km²
人口 41,078人 (R7.3.31現在)

幕末期、吉田松陰や高杉晋作など維新の志士たちを数多く輩出した「明治維新胎動の地・萩」。

1604年に毛利輝元公が萩城を築き、城下町ができてから400年余が経過しましたが、かつてのたたずまいが今日まで継承され、今も「江戸時代の地図がそのまま使えるまち」です。

まちじゅうに歴史のおたからが残り、幕末からの急速な我が国の産業化を証明する遺産は「明治日本の産業革命遺産」として、世界文化遺産に登録されています。

「一楽二萩三唐津」と謳われる萩焼の里でもあり、伝統ある技術が連綿と受け継がれたまちには、多数の窯元が点在しています。

豊かな自然に囲まれ、海の幸・山の幸に恵まれているほか、城下町から少し足をのばせば、美しい渓谷の「長門峡」や、約1400万年前にできたとされる縞模様の断崖「須佐ホルンフェルス」など、雄大な風景を望むことができます。

魅力に満ちた萩のまちは、地球が長い年月をかけて作り上げた大地と人がともに歩み、向き合いながら築かれました。萩のまちを支える大地を守り、活かす取組は、日本ジオパークに認定されています。



がんばる萩市を 応援してください!!

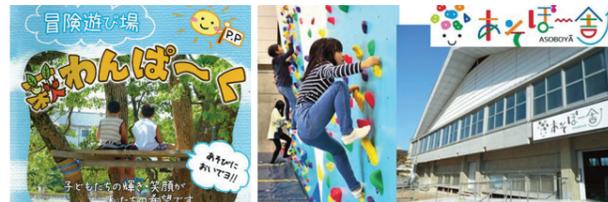
萩市はSDGsの達成に
向けて取り組んでいます。



記載の取組は一例です。
この他の取組もご案内いたしますので、
お気軽にお問い合わせください。

日本一子育てしやすいまち・萩

自然の素材を使って自分の責任で自由に遊ぶ「萩わんぱーく」。親子がふれあいアクティブに遊べる屋内運動場「あそぼ一舎」。未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援します。



グローバルIT人材の確保・育成

IT企業のサテライトオフィス誘致が実現する中、IT人材の不足が課題になっています。これを解決するため、産官学が連携して、現代版「IT松下村塾」を開塾。高校生から社会人までを対象に、次世代の社会を生き抜くグローバルIT人材の育成を目指します。



萩探究部(はぎたん)

萩を舞台に高校生が興味のあることを探究するプロジェクト。東京大学・鈴木寛教授が主宰する「すずかんゼミ」のサポートを受け、高校生の「やってみたい」を実現します。



世界文化遺産の保全

2015年、世界文化遺産に登録。
日本の近代化の原点であり、人類共通の財産である萩の5資産を未来に継承します。



萩ジオパークの推進

2018年、日本ジオパークに認定。
大地と人のつながりをテーマに、地質遺産を守り、活用するジオパークの取組を推進します。



萩まちじゅう博物館の推進

萩市はまち全体が、まるで屋根のない広い博物館！
市内に点在する歴史・文化・自然の「おたから」を最大の地域資源と捉え、萩にしかできないまちづくり、観光地づくりに取り組んでいます。



命の誕生を応援

子どもは、親にとって、また、地域にとってもかけがえのない存在であり、多くの喜びと感動をもたらしてくれます。萩市では、妊娠を希望される方に、不妊症や不育症の治療費等を助成し、新しい命の誕生を応援します。



持続可能な地域医療体制

地方の医療人材不足が深刻化する中、医師・看護師などの人材確保に取り組むとともに、医療DXも活用し、将来にわたり誰もが安心して医療を受けられる体制を構築します。



DXの推進

全ての方がデジタル技術の恩恵を受けられるDXに取り組み、より便利で豊かな、幸せを実感できるまちづくりを推進します。



テレワークによる 「転職なき移住」・「転出なき就職」の推進

多様なライフスタイルが尊重され、働く場所にとられない時代だからこそ、萩でテレワークを。希望者と企業をつなぎ、理想の働き方をご提案。歴史と文化が息づく萩市で、新時代の働き方改革を推進します。



萩焼の振興

萩焼は、萩藩の御用窯として開窯され400年の伝統を誇ります。長年使い込むうちに色合いが変化し味わいが増す萩焼の魅力を発信するとともに、伝統的技法を後世に引き継ぎます。



力強い農林水産業

海、山、豊かな自然に囲まれた萩の農林水産業は、豊富な食材や木材を流通させ、人々の生活を支えます。担い手不足や稼ぐ力の向上など一次産業の抱える課題を克服し、持続的な農林水産業、そして、大地と海の恵みを未来へつなぎます。



スポーツによるまちづくり

青山学院大学陸上競技部と連携し、スポーツ人材の育成や、学校部活動の地域移行を推進します。



伝統文化の継承

日本海沖45kmに浮かぶ国境の島「見島」。美しく小さな離島には、手つかずの自然や伝承されてきた生活様式が息づいています。こうした離島や中山間地の魅力を発信し、特色ある文化や産業を守り、継承します。



防災力の向上

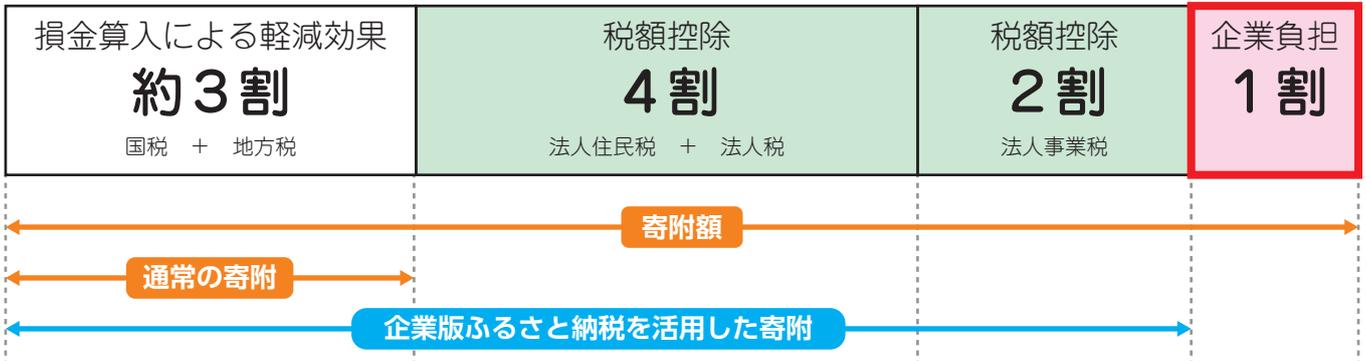
近年、災害は頻発・激甚化しています。予測困難な災害から人々の命を守るため、避難所に必要な資機材・非常食・飲料水を整備します。



企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)とは

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

通常の地方公共団体への寄附における損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、税額控除(寄附額の最大6割)により、**最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担は、寄附額の約1割となります。**



例 100万円を寄附すると、最大約90万円の法人関係税が軽減

税額控除の内訳

法人住民税	寄附額の4割を税額控除(法人住民税法人税割額の20%が上限)
法人税	法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除 ただし、寄附額の1割を限度(法人税額の5%が上限)
法人事業税	寄附額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)

※税額控除の手続(申告)や算出に関しては、税理士や所管する税務署へご相談ください。

企業様のメリット

税制上の
優遇措置

企業の社会貢献・
地域貢献のPR効果

SDGsの
推進

寄附を通じた連携による
新たなパートナーシップの構築

留意事項

- ・企業版ふるさと納税の制度を活用して萩市に寄附ができるのは、萩市以外に本社を置く企業です。
- ・1回当たり10万円以上の寄附が対象です。
- ・寄附を行うことの代償として、経済的な利益を受けることは禁止されています。

問い合わせ先

萩市総合政策部企画政策課
〒758-8555 山口県萩市大字江向510番地
TEL: 0838-25-3102
MAIL: kikaku@city.hagi.lg.jp



← 詳細は
こちら